

プログラム	NEXT 産業創造	必修・選択	必修	単位	—	学期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	スタートアップ特論			教員名	野村幸雄/ 鈴木宏幸/亀井省吾
		(英文表記)	Startup				

概要	デジタル化の進展、グローバル化、そしてサステナビリティの重要性が高まる中、スタートアップやイノベーションは社会課題の解決や経済活性化の要として期待されている。本講義では、国内外の先進事例や成功事例を取り上げ、それらを基に実践的なスタートアップやイノベーションのアプローチを学ぶ。 前半では、「GLOBAL」「デジタル」「LOCAL」の3つの視点から、主に最新の事例やケーススタディを紹介し、対談形式で実践的な理解を深める。加えて、主要な課題テーマごとの取り組みについても考察する。後半では、エフェクチュエーションやリーンローンチパッドといったスタートアップの基礎的な知識や実践手法を学び、自己テーマの構想化を促進する。さらに、スタートアップアクセラレーターの活用、資金調達・ファイナンス手法について理解を深め、実践的な知見を獲得する。 本講義を通じて、イノベーション思考力や課題解決力を養い、スタートアップや新規事業の実践に必要なスキルを身につけることを目指す。			
目的・狙い	本講義では、先進的な成功事例を通じて、スタートアップやイノベーションに必要な実践的な知識とアプローチを習得することを目的とする。単なる知識の習得にとどまらず、具体的な事業構想や戦略設計に活かせる思考力を鍛え、実践的なスキルの獲得を目指す。特に、以下の能力を養うことに重点を置く。 1. 先進事例の知見と活用：「GLOBAL」「デジタル」「LOCAL」の3つの視点から先進事例を学び、イノベーションの具体的な取り組みを理解する。 2. 課題テーマ別のアプローチ：実際の事例を基に、スタートアップやイノベーションにおける事業展開の考え方を身につける。 3. 思考力と新規事業の可能性を高める知見：イノベーションを推進するための発想力や、事業の成長可能性を見極める視点を養う。 4. スタートアップアクセラレーターの活用とネットワーク構築：アクセラレーションプログラムの活用方法を学び、ネットワーク構築力を高める。 5. 資金調達とファイナンスの理解：資金調達手法やファイナンスの基本を学び、事業運営に必要な金融リテラシーを習得する。 本講義を通じて、スタートアップやイノベーションの実践に必要な思考力、スキル、ネットワークを獲得し、事業創造を推進する力を身につけることを狙いとする。			
前提知識 (履修条件)	1. 世の中の最新動向を踏まえた社会や市場に関心興味があること（特にスタートアップ/イノベーション）。 2. デジタル/DXについて、初歩的な知識を有していることが望ましい。 3. マイクロソフトオフィスのExcel、Power Pointを使用できることが望ましい。			
到達目標	上位到達目標			
	1. スタートアップ/イノベーションに求められるアイデア/構想/企画の実践的活動を行動に移すことが可能。 2. 実際の事業環境分析やスタートアップ/イノベーション戦略のデザイン活動を行動に移すことが可能。 3. 仮説検証による事業創造/顧客開発を実際に進められるようなスキルを修得している。			
	最低到達目標			
	1. スタートアップ/イノベーションに求められる基本的な重要要素を理解している。 2. 事業環境分析やスタートアップ/イノベーション戦略のデザインの概要を理解できている。 3. 仮説検証による事業創造/顧客開発の重要ポイントや実際の進め方が理解できている。			
授業の形態	形態		実施	特徴・留意点
	録画・オンライン授業		○	第5回と第6回は録画配信。その他、オンライン。
	授業形態	講義（双方向）	○	
		実習・演習（個人）	○	
		実習・演習（グループ）	(○)	場合に応じてグループ討議実施。
	サテライト開講授業		-	
その他		-		

授業外の学習	● 予習：レジュメ（パワーポイント）を配布する。 ● 復習：学んだ部分を中心に、自らが講義で学修し、演習等で錬成した内容を反復する。	
授業の内容	本授業は、基礎知識のインプットのほか、講師とゲストによるレクチャーと対談を組み合わせ、「GLOBAL」「デジタル」「LOCAL」の3つの視点からスタートアップとイノベーションの実践的な理解を深める構成となっている。前半では、先進事例や成功事例をもとに、スタートアップやイノベーションのアプローチを学ぶ。それぞれの事例を分析し、実践への応用を図る。また、スタートアップアクセラレーターの役割やグローバルな動向についても理解を深める。後半では、エフェクチュエーションやリーンローンチパッドといった起業手法を中心に、スタートアップの基礎的な知識を習得する。さらに、資金調達やファイナンスの実務について学び、スタートアップの成長を支える仕組みを理解する。	
授業の計画	回数	内容
	第1回	「スタートアップ/イノベーション ～今、世界で、地域で、何が起こっているのか～」 ● SHIBUYA QWS 誕生背景とその5年間の歩みから 講 師： 野村幸雄
	第2回	「スタートアップ先進事例」 ゲスト講師：徳永翔平氏 株式会社ザ・ファージ 代表 坂木茜音氏 株式会社スタジオプレーリー 代表 対 談： 野村幸雄/鈴木宏幸
	第3回	「日本発スタートアップエコシステムのグローバル化」 ● 先進地域および全国の具体的な事例から ゲスト講師：藤本あゆみ氏 一般社団法人スタートアップエコシステム協会 代表理事 対 談： 野村幸雄/亀井省吾
	第4回	「スタートアップ支援先進事例」 ゲスト講師：上原仁氏 Project Coalis GP 小田嶋 Alex 太輔氏 株式会社EDGE of INNOVATION CEO 対 談： 野村幸雄/鈴木宏幸
	第5回 【録】	成功する起業家の思考と行動特性「エフェクチュエーションとコーゼーション」 ● 複数の具体的な事例から 講 師： 鈴木宏幸
	第6回 【録】	スタートアップのデファクト教育プログラム「リーン・ローンチパッド」 ● 複数の具体的な事例から 講 師： 鈴木宏幸
	第7回	「これからのベンチャーファイナンス」 ● ファンドからみる「いい会社」とはなにか ゲスト講師：鎌田恭幸氏 鎌倉投信株式会社 代表取締役社長 対 談： 亀井省吾
	第8回	「スタートアップ/イノベーション ～スタートアップアクセラレーターの視点から～」 ● 総括/まとめ ● 受講生へのフィードバック 講 師： 野村幸雄/亀井省吾
教科書・教材	講義資料は講義前に適宜、配布する。	
参考図書	別途、事前に連絡する。	
成績評価	積極的な授業参加、ディスカッションポイント（出席したことのみでは評価しない）50%、レポート 50%。 評価は最低到達目標を基準に可否にて実施する。	
備考	* 本講義受講者には、9月中旬開催予定のSHIBUYA QWS イベントへの参加を推奨する。 * 本講義は、福知山公立大学と渋谷QWSの共同開催とし、福知山地域だけでなく、渋谷QWS（東京）から福知山NEXT産業に参加する受講生も広く募集するものである。 参考： https://shibuya-qws.com/topics/qws3rdanniversary	